



いたびつ **板櫃** <校訓>
真理の探究
自主躍進

令和6年4月22日(月)発行
校長 栗原 博巳
北九州市小倉北区白萩町8番1号
HP: www.kita9.ed.jp/itabitsu-j/

<学校教育目標>
自立・共生～自立心にあふれ、他を思いやる心をもった生徒の育成～
<目指す生徒像>
①「時を守り、場を清め、礼を正す」生徒(凡事徹底)
② 自ら考え、正しく判断し、進んで学習や諸活動に取り組む生徒(自立)
③ 思いやりの心を持ち、協力合って集団生活の向上に努める生徒(共生)
④ 与えられた仕事に対し、役割を果たすことのできる生徒(責任)

自ら気付いて行動できる人になろう！

～今の自分を見直し、これでよいかどうかを真剣に考えるとき～

始業式、入学式を終え、日常生活が戻ってきました。さあ、新年度になり(1年生は中学生になり)、はたして「いい変化」が現れているでしょうか。自分自身の成長が見えているでしょうか。残念ながら、まだ、同じ事で何度も注意を受けたり、できていたことができなくなっていたりする場面も見受けられます。



新学期になり、これまでの日常生活で、当たり前なのがどれだけ身に付いているか確かめましょう。今の自分をチェックしてみてください。できている項目の□を塗りつぶしてみましょう。

【特に重要】 □きまりや時間を守る □正しい言葉遣いをしている □身だしなみをきちんとする

【次に重要】 □話を静かに聴く □元気なあいさつ □遅刻をしない □家庭学習を続けている

□生活の場をきれいにしている □真剣に授業を受けている

さあ、いくつできていましたか。板櫃中のみなさんのさらなる成長を期待します。

“言われてできる”だけでは『成長』がない！



清掃(そうじ)が頑張れる人になろう！

毎日、学校生活、部活動、地域のスポーツクラブ、塾、習い事などで頑張っていることでしょう。板櫃中生徒のみなさんの頑張りは日に日にすばらしくなっているようです。

さて、スポーツやコンクールで優勝や入賞するためには、その日だけ頑張ったり、努力したりではないことは、みなさん十分承知だと思います。よく言われるのは、日々の積み重ねです。しかし、スポーツや大会、コンクールなどは結果を通して評価されることも多くあります。

さて、学校生活に目を向けてください。・・・特に清掃です。清掃もある意味結果がすべてです。きれいになったか、ならなかったか。それができたか、できなかったか。性別や年齢に関係なく誰でもきれいにしようと本気で思えばきれいにすることができます。それが清掃です。

清掃に本気で取り組んでいる人には素敵なことがあると思います。まず、きれいにしようとすれば、「どうしたらきれいになるか」と考えます。つまり、『考える力』が身に付きます。

次に、汚れているところが気になるようになります。つまり、『気になる感覚が磨かれます。アンテナを高くするということです。

そして、本気できれいにしようと思っている人は、きれいにしてくれた「だれか」に対し『感謝の心』をもつことができます。



『考える力』『気になる感覚を磨く』『感謝の心』これらは、部活動でも、習い事でも先生やコーチなどから言われている言葉ではないでしょうか。スポーツと清掃、勉強と清掃、習い事と清掃・・・共通するものは『本気で取り組む』ことでしょう。

清掃に関して、板櫃中の学校スローガン「規律(凡事徹底)」に含まれていることは、みなさんも理解していることと思います。みなさんの一人一人の力で、この板櫃中学校が今まで以上に美しくなることを心から楽しみにしています。今年から2年2組のみなさんが校長室の清掃をしてくれています。毎日、黙々と掃除をしている姿は美しいですね。

(少し難しい内容ですが)素敵な学級づくりを全員で！

